

所沢市市民大学 OB 会 歴史講座

講師 高麗神社宮司 高麗家 60 代当主

高麗 文康 氏



高麗王若光と建郡 1.300 年の歴史

『講演要旨』 高句麗から渡来した高麗王若光の高麗郡建郡に至るまでの歩みと、その後裔である高麗氏の生き方を通じて 1.300 年の歴史の一端を紐解きます。

【講師 高麗文康 プロフィール】

1966 年 12 月 (埼玉県) 生れ、高麗神社宮司。高麗神社祭神である、高麗王 (こしき) 若光を開祖とする高麗家 60 代当主。合気道 5 段。著書に『陽光の剣～高麗王若光物語』(幹書房) など。

開催日時 平成 28 年 6 月 27 日 (月) 時間 14:00～16:00
受付 13:30

場 所 新所沢公民館 (新所沢駅西口 5 分) 2 階 5-6 号室 電話 04-2924-2955
定 員 80 名 (受講料 無料 ・原則として 会員・家族対象)
申込み不要

◎補足歴史概略など

7 世紀、朝鮮半島には、新羅・高句麗・百済の三国があり、日本との交流では百済が一番親密であった。百済が唐と新羅に攻撃された際、倭(日本)も軍を派遣したが、663 年白村江の海戦に惨敗した。半島は新羅が支配するところとなり、日本は百済や高句麗の遺民などを主に東国へ積極的に移住させた。668 年高句麗滅亡するが、666 年高句麗王族の一人として移住した人物に「従五位下高麗若光」と王(こしき)姓を与えた記録がある。

また、続日本記には、霊亀 2 年=716 年 東国 7 ヶ國の高麗人 1799 人を武蔵野國に移住させ「高麗郡」を置いたとされる。高麗神社の祭神「高麗王若光」は、王姓を与えられたリーダーと見られる。当時としては、先進の優れた農業技術等を伝え、東国の地の開拓に貢献した。

◎2016 年は高麗郡建郡 1.300 年に当たり、高麗 1.300 事務局を設け、当地の発展に寄与した先人への感謝と未来への希望を育むため、各種講演活動などを展開されております。

「高句麗の歴史」「高麗郡の歴史」「渡来人の足跡」などいろいろお話を頂き、歴史のロマンに思いを馳せる事は埼玉県に居住する一員として大変有意義なことと思ひ、私どもの OB 会でもご講演をお願い致し、ご多忙の中ご講演頂けることとなったものです。

是非多数の方のご来場をご期待致します。

お問合せ
右記へ

笹川 2948-6751

高木 2928-6035

谷茂岡 2998-0936

秦 2924-5307